

# 地方航空路線活性化プログラム

➤ 地方航空ネットワークの安定的な確保を図るため、地域主体(地方公共団体、観光協会、商工会議所、エアライン等からなる協議会)による路線維持の取組のうち、国として評価したモデル的な取組について平成26年度から3年間実証調査を実施。

## 概要

対象路線は、路線需要や代替交通機関(乗継航空機便を含む)の利便性及び地域の支援ニーズの有無からも判断。平成26年度に公募を実施し、外部有識者の評価により8路線を決定。平成26年度より3ヵ年の実証調査を実施。

平成28年度に各路線の取組について最終的な評価・検証を実施。

モデル的取組の実証効果は、全国の他の地方航空路線の取組に波及。

## 予算規模等

・**予算額** 平成26年度 3.2億円 平成27年度 3.1億円  
平成28年度 2.8億円(1路線当たり 32百万円  
(高評価の提案内容には増額措置を実施))

・**取組期間** 3年間(平成26年度～平成28年度)

## スケジュール

1年目(H26)

有識者懇談会の開催  
(公募要領の策定、提案書審査等)

提案書の採択・対象路線の公表

冬ダイヤの実証調査

2年目(H27)

夏ダイヤの実証調査

冬夏ダイヤの実証調査に関する評価・検証(中間とりまとめ、改善策の検討を含む)

3年目(H28)

改善を踏まえた実証調査に関する評価・検証(最終とりまとめ)

全国の他の地方航空路線  
に取組成果を波及

## 調査路線

調査路線	主な取組内容
釧路 = 丘珠 (HAC)	発着地双方での路線PR、イベント活動等の実施。 ターゲットを絞った魅力ある旅行商品の造成 など
紋別 = 羽田 (ANA)	「流水」「花」「食」など地元の観光資源を活用した誘客活動。 タイ、東アジア等に焦点を当てた観光客誘致。(商品造成・販売の促進、PRの展開等) など 西の伊勢参りと東の奥参り(出羽三山)について共通PR・イベント等を両地域で展開。 自動車関連産業を中心とした経済交流の拡大。 「ビジネス利用者向けにPR、企業等への利用推進活動等」など
山形 = 小牧 (FDA)	社会的活動に関心の高い層をターゲットとした体験ツアーの実施による利用客受入促進。 新幹線と航空の連携による県内周遊観光の促進。 など
能登 = 羽田 (ANA)	産業交流による鹿児島発ビジネス需要の創出(キャンペーン、物産展等) 富士山・桜島を中心とした観光交流の拡大。 (両地域が連携して、路線PR、インバウンド向け周遊モデル構築等) など
静岡 = 鹿児島 (FDA)	世界遺産「熊野古道」はじめとする観光資源を活かした観光客誘致活動。 欧米、首都圏在住の外国人をターゲットに誘客活動 など
南紀白浜 = 羽田 (JAL)	但馬発欠航便に限らず、伊丹発欠航時においても最寄特急停車駅までの代替乗合タクシーを運行実施。 「ハフォーミングアートツリズム」と併せたイベント企画等を活用した路線認知度PR拡大。 など
但馬 = 伊丹 (JAC)	SNS・口コミ等による情報発信を条件とした体験取材ツアーの実施。 メディア等を活用したPR事業。 など
天草 = 福岡 (AMX)	

発着両県合同の産業交流イベント  
(静岡 = 鹿児島路線)



東南アジアからの観光客誘客  
(紋別 = 羽田路線)



WEBによる商品ツアー告知  
展開(天草 = 福岡路線)



地元白浜地域で航空利用の促進活動  
(南紀白浜 = 羽田路線)

